



修理時期を誤ると大きな出費に繋がってしまう ATオーバーホールの タイミング

文=GERMANCARS
協力=セントラルオート(TEL.03-3883-9922)

マニアクベンツ世代のモデルとなるとATのオーバーホールを考えたい時期。壊れてから直すというのが「普通」なのかもしれないが、じつはこのタイミングがとても重要なのである。愛車をいたわり、快調に走らせるためには、時として「予防」のための修理も視野に入れておきたい。

トラブルの前兆は 何らかの形で表れる

変速のタイミングがおかしい、バックしなくなったなど、ATにトラブルが起こると、気分はガクンと落ちる。それが出先であつたならなおさらだ。登場から20年以上が経過し、走行10万kmを越えているクルマが多いこの世代のメルセデス・ベンツはATオーバーホールの時期に来ている。ATの修理と聞くと30万円以上はかかるから「はい、お願いします」と簡単に言うのは難しい。だが、本当にこの世代のメルセデスを味わうためには、本来のATの性能に戻すことが重要なのである。

燃費が悪いからといって、怪しげな燃費アップグッズを使うよりは、ATをオーバーホールした方が確実に燃費は良くなるし、カッコイホイールを無理して買ったも、ATが壊れてしまつては誰にも見せられない。クルマは走ってナンボなのだから、まずは正常に走れるコンディション

にすることが大切なのである。オーバーホールを迷っていた人

決心がついたのだろうか。「YES」なら、次は修理のタイミング。一般的に考えて「壊れてから直す」か「壊れる前の予防として直すか」の2つの選択肢がある。さあ、どっちが最適なのか? 筆者の経験上「壊れてから直す」というのがよく聞く話であり、多数決で物事が決まるというのはいが国でも同じなので、こちらを多数派とし、「予防として直す」は少数派とさせていただく。

この結論を出してくれるのは、重整備を得意とするメルセデス・ベンツ専門の修理工場セントラルオート

の児玉メカニックだ。「壊れた状態で入庫してくるのがほとんどですね。うちのATオーバーホールは定額制にしていますが、本当だったら前兆が見えた時点で修理するのがベストタイミングだと思います。例えば機械式の4速ならバックしなくなるケースが多い。最初のうちは大丈夫だからといって放置する

人もいますが、クルマへのダメージは大きいです。オーバーホールと言っても使えるパーツは再使用しますから、ベースになるパーツはあくまでもオーナーさんのクルマなんです。滑り出したり変速シヨックが大きいなど、おかしいと思ったらオーバーホールの時期が近いと認識して下さい。ミッションは消耗品ですから」

どちらかと言うと少数派よりのお答え。トラブルの前兆を見逃さないことは、ATに限らず全てのメンテナンスにおいての共通認識。クルマへのいたわりは安心感と、その費用に見合った最高のパフォーマンスを見せてくれる。だからこそ、僕らはこの世代のベンツが好きなんだと実感する。ATオーバーホール後、修理をして良かったと思う時は必ずくるのだ。

オーバーホールのベースになる パーツは自分のクルマにある

! CAUTION !

こんな症状が出たら注意!!

! 変速時の滑り

シフトアップ時に一瞬タコメーターが上がる、変速時のタイミングがおかしいなどの症状が「ATが滑っている」というケースだ。

! バックしない

トラブルの前兆として分かりやすいのがRレンジに入れてもバックしなくなる。こうなるとオーバーホールが必要となる。

! 変速時のタイムラグ

DからR、またその逆のシフト操作を行ってもミッションが繋がらない。タイムラグがある場合はオーバーホール時期が迫っているということだ。

! 7万km以上の走行距離

V8エンジンの場合は7万km、その他3リッターくらいまでのモデルなら10万kmをオーバーホールの目安としたい。

! フルードがダダ漏れ

ミッションケース周辺のパッキンやガスケットからATFが多めに漏れている場合は、ガスケット類も新品に交換するオーバーホールをしたい。



写真はメルセデス・ベンツ純正のオーバーホールキット。そのほとんどはガスケットとパッキン類。クラッチディスクやブレーキバンドなどは別発注となる。



ATFの定期的な交換は必須。同時にフィルターも交換するのがベスト。ATFの交換作業は信頼できるメルセデス専門の修理工場に依頼すること。

流用パーツ情報

上級グレードや日本仕様にはないパーツをうまく流用すれば、お手頃価格で効果的なモディファイが可能になる。ここではW124に使える流用パーツを集めてみた。

■ デフダンパー



欧州仕様のみ装着されているデフダンパー。高速道路を走行した時にデフの揺れを感じるのが嫌なら、このダンパーが効果的だ。

■ SL 用アッパーマウント



ローダウンしているクルマに効果的なSL用アッパーマウント。車高を落とすことにより生じるデメリットを解消することができ

■ W210 用スプリング



W210こと先代Eクラスのスプリングを流用することで、見た目と乗り心地を両立できる。車高はAMGと社外ローダウンスプリングの間くらい。

■ AMG 純正ブレーキ(ブレンボ製)



現在、スピードジャンプが準備しているのがAMG(ブレンボ製)のブレーキセット。オーバーホールキットなどアフター面も万全で、かつドレスアップ効果も高い。